

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成26年4月21日)

- 通信指令・総合指揮システムの高度化更新について ..... 1  
(生活安全部通信指令課)
  
- シルバー・セイフティ・インストラクターの活動状況  
(平成25年度中) について ..... 2  
(交通部交通企画課)

警 察 本 部

## 通信指令・総合指揮システムの高度化更新について

平成26年4月21日  
警 察 本 部  
(生活安全部通信指令課)

平成26年3月、通信指令・総合指揮システムの高度化更新を行ったので、下記のとおり報告する。

### 記

#### 1 システム更新の経緯

通信指令・総合指揮システムは平成16年の運用開始から10年が経過し、老朽化、陳腐化が進んだことから全面的な更新を実施し、平成26年3月から新システムを運用開始した。

#### 2 運用開始

平成26年3月12日(水)

#### 3 賃貸借料

平成26年3月から平成33年2月までの7年リース  
602,705,880円(1年当たり86,100,840円)(税込み)

#### 4 主な更新内容

##### (1) タブレット入力の採用(指令室110番受付指令端末)

110番受付指令端末の入力方式に専用ペンによるタブレット入力を採用し、事案内容の選択入力、手書き入力時における操作性及び視認性を向上させた。

##### (2) 画像情報共有の強化

地域警察官が携行している携帯電話型データ端末(P.S.Dシステム(注1))と通信指令システムを接続し、それぞれが撮影した画像を共有することにより、システムの違いを意識することなく、より迅速な画像による手配が可能となった。

注1: 写真撮影、画像の送受信、掲示板機能等を持った警察用の携帯電話システム

##### (3) 位置検索機能の強化

発生場所等の位置をより迅速に特定するため、電柱、標識柱による検索を可能とするなど位置検索機能を強化した。

##### (4) 大型表示装置の高画質化

通信指令室、総合指揮室及び事件対策室の大型表示装置を液晶ディスプレイに更新することにより、フルハイビジョンに対応した鮮明な映像表示が可能となった。

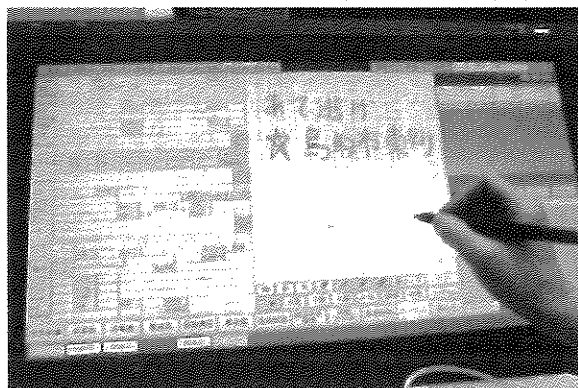
##### (5) 映像配信機能の強化

警察が保有する様々な映像情報から視聴したいチャンネルを選択し視聴できるネットテレビを各所属に整備することにより、ヘリテレ映像、現場映像等の各種映像を品質を落とすことなく視聴することが可能となった。

#### 5 隣接県との申合せ書の取り交わし

鳥根県及び岡山県のカーロケータシステム(注2)と鳥取県のカーロケータシステムを接続することにより、お互いの通信指令システム端末上で相手県の車両動態(位置等)を把握するために前記両県と申合せ書を取り交わした。

注2: パトカー等の警察車両の位置を把握したり、事案の内容を共有するシステム



【タブレット入力】



【指令室大型表示装置】

# シルバー・セイフティ・インストラクターの活動状況（平成25年度中）について

平成26年4月21日  
警察本部  
（交通部交通企画課）

平成25年度中におけるシルバー・セイフティ・インストラクターの活動状況について、下記のとおり報告する。

記

## 1 主な活動内容

### (1) 高齢者に対する交通安全教育活動

参加・体験型の交通安全教育機器（交通安全教育車「ことぶき号」、歩行環境シミュレータ機器「わたりジョーズ君」、自転車シミュレータ）を活用しての交通安全講習を実施した。

### (2) 高齢者宅訪問による交通安全個別訪問指導及び反射材貼付活動

高齢者宅を個別訪問して、短時間交通安全講習を実施するとともに、反射材の夜間、薄暮時における有効性を説明の上、靴、杖等に反射材を直接貼付する活動を実施した。

### (3) その他交通安全活動に関する広報啓発活動

各期の交通安全運動等において、交通安全意識普及の広報啓発活動を実施した。

## 2 配置警察署等

| 配置警察署 | 配置人員 | 活動範囲                 |
|-------|------|----------------------|
| 鳥取警察署 | 1人   | 東部地区（鳥取、郡家及び智頭警察署管内） |
| 倉吉警察署 | 1人   | 中部地区（浜村、倉吉及び八橋警察署管内） |
| 米子警察署 | 1人   | 西部地区（米子、境港及び黒坂警察署管内） |

## 3 活動状況

### (1) 高齢者交通安全教育活動

| 区分   | 回数   | 人員     |
|------|------|--------|
| 東部地区 | 70回  | 2,906人 |
| 中部地区 | 65回  | 2,698人 |
| 西部地区 | 130回 | 3,053人 |
| 合計   | 265回 | 8,657人 |



【高齢者交通安全教育活動状況】

### (2) 高齢者宅訪問活動

| 区分   | 被訪問者数  |
|------|--------|
| 東部地区 | 3,244人 |
| 中部地区 | 876人   |
| 西部地区 | 3,219人 |
| 合計   | 7,339人 |



【高齢者宅訪問活動状況】

## 4 活動に対する反響

- 直接、自宅に来て短時間講習をしてもらい大変勉強になった。
- 実際に、反射材を靴に貼ってもらい、夜道が安心だ。
- 出前型の講習で、直接いろいろな質問に答えてもらい、疑問が解消した。
- 「わたりジョーズ君」等体験型の講習を受け、身をもって安全確認の重要性が分かった。



【交通安全運動における広報啓発状況】